

困り事を抱える家庭への支援

食材配達を通じた関係構築

アウトリーチ型支援を拡大

竹村 雅夫

(民主・無所属クラブ)

これまで学校が困難を抱えた子どもを支援する際に、家庭の問題に立ち入ることが難しいという課題があった。今回、コロナ禍のもと、コミュニティソーシャルワーカー(以下CSWという)が食材の訪問配達を行ったことは、家庭の孤立を防ぐために有効なアウトリーチ型支援であると考えているが、実態について聞きたい。

【質問】 本事業は教育委員会からの依頼により、給食が開始されるまでの間、食の支援を希望する家庭に対し、CSWが食材を配達した。本事業を通じ、学校がCSWの存在や役割を改めて認識する機会となり、学校からCSWに直接相談するなどが、新たな関係構築につながった。

【質問】 南北自由通路の拡幅詳細設計を1年延期

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

【質問】 南北自由通路の拡幅詳細設計を1年延期

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ



南北自由通路拡幅は令和4年度から詳細設計に着手する

【質問】 南北自由通路の拡幅詳細設計を1年延期

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

南北自由通路拡幅整備事業については、今年度内の基本設計の完了に向けて、藤沢市、JR東日本、小田急電鉄の三者で取り組んでいる。しかし、コロナ禍により財源の確保が不透明な状況にある。

【質問】 独自の海岸モデル 海水浴場の発展へ



関係者のパートナーシップが海岸を守る

安全な海岸を維持するよう努めた。

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

国民健康保険料 持続可能な制度とする 負担割合見直しと公費投入を

土屋 俊則

(日本共産党藤沢市議会議員団)

国民健康保険料において、低所得世帯の国民健康保険料を引き下げ、負担割合を70対30にするべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

【質問】 交代制勤務の検証 将来見据え組織構築

【質問】 市民サービスの向上 職員の意識改革を

【質問】 デジタル市役所 全庁を掲げて推進へ

【質問】 国民健康保険料について

【質問】 交代制勤務の検証

【質問】 市民サービスの向上

【質問】 デジタル市役所

デジタル市役所の実現としてスマートフォン決済を導入する

